

安価な簡易棚を利用したキウイフルーツ栽培

キウイフルーツは直売所等で県産の果物が少ない晩秋から冬季に販売できる有望な果樹品目です。一方、栽培には棚を用いることから、初期投資が必要です。そこで、小規模栽培に向く、自主施工が可能で安価な簡易棚を開発しましたので、栽培方法と合わせて紹介します。

1 単管パイプを使った簡易棚

簡易棚は単管パイプとクランプを使用し、1マスを4m×4mの正方形で設置します。棚線はエスター線を使用すると作業性が優れます。材料はホームセンター等で揃えやすく低コストで自主施工も可能です。

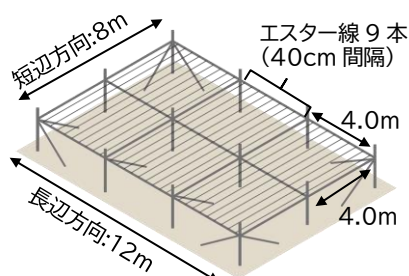


図1 簡易棚の配置図

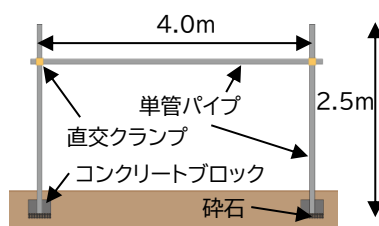


図2 簡易棚の側面図(通常部)



写真1 簡易棚の設置

2 簡易棚を利用した密植栽培方法

簡易棚の4m×4mの枠を利用して、慣行のキウイフルーツ栽培より密植となる列間4m×樹間4mに植栽することで、樹形の完成が早く、植栽3年目から収穫が可能となり、早期多収が期待できます。

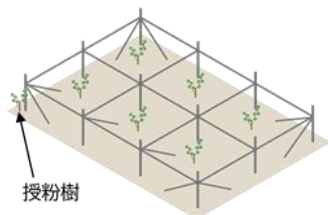


図3 列植図

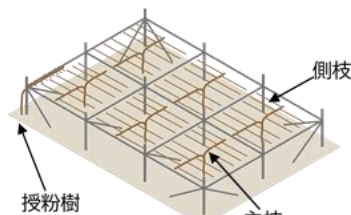


図4 目指す樹形(両側一文字仕立て)



写真2 着果の様子

3 技術の効果およびコスト

(1) 棚資材費を約47%削減できる

単管パイプを使った自主施工できる簡易棚では、従来型のアンカー平棚と比べて、棚の資材費を約47%削減できます。また、自主施工する場合は施工費もかかりません。

(2) 早期多収を実現

密植栽培することで、植栽5年目には収量が2.0t/10aに達し、表1の所得を得ることができます。

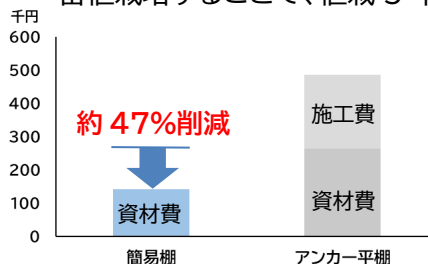


図5 栽培棚の費用(1a)

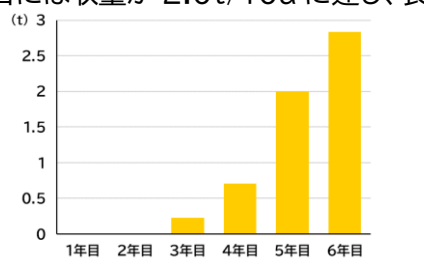


図6 「東京ゴールド」の10a換算収量

表1 経営試算(1a)(植栽5年目)			
項目	金額(円)	内訳	
粗収入	販売金額	172,800	直売所販売
生産費	肥料費	1,180	化成肥料等
	農薬費	966	殺菌剤等
	諸材料費	469	誘引紐等
	減価償却費	21,883	栽培棚等
	出荷費	36,800	出荷資材等
生産費計		61,298	
所得金額(円)		111,502	

4 留意点など

※直売所等でのおすすめ品種は「紅妃」、「東京ゴールド」、「香緑」になります。

※詳細は令和6年度実用化技術「直売所等でのキウイフルーツのおすすめ品種」を参照してください。